

伊藤病院だより  
WINTER

# Voice

2015年12月1日発行 第52号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



伊藤病院 院長 伊藤公一

10月29日と30日の2日間、青山ダイヤモンドホールにて第48回日本甲状腺外科学会学術集会を主催いたしました。

日本甲状腺外科学会は、1968年に検討会として始まり、研究会を経て2006年に学会に昇格しました。そこで毎秋の学術集会が最大のイベントですが、学会本体は、学術誌の編集や、専門医制度認定、診療ガイドライン策定など、甲状腺疾患の外科的診療全般を守備範囲として、診断・治療の進歩・普及に、日々努めております。

それらの地道な活動につれ、次第に会員数は増え、現在の総会員数は1138名を数えております。そこで甲状腺疾患に専門特化を図る当院は、中心的な活動を続けてまいりました。

当院における学術集会の主催は2回目であり、1989年に開催された第22回では亡父が学会長を務めております。よって親子2代で大役を果たすことが出来ました。

お陰様で、学会には623人の同胞医師が全国から集まりました。そして「少子高齢化時代における甲状腺外科診療」、「甲状腺診療における医療安全と危機管理」、「甲状腺微小乳頭癌の診療」、「甲状腺外科における専門医制度と専門医教育」の4つのシンポジウムを中心に、新たに始まった分子標的薬治療についてなど、多岐にわたる話題が提供され、活発な議論が成されました。また市民公開講座にも大勢の方々に御参加を頂きました。

会期中は外来診療を休診とし、患者様には大変な御迷惑をおかけしましたが、今回の学会開催は、「甲状腺を病む方々のために」、私どもの益々の診療進歩に繋がったものと信じております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 発表演題

伊藤公一	会長講演：甲状腺疾患専門病院の院長として
北川亘	甲状腺専門病院における85歳以上の超高齢者甲状腺疾患に対する治療の現状
赤石純子	甲状腺低分化癌の再発および予後因子の検討
宇留野隆	甲状腺未分化癌に対するlenvatinibの投与経験～簡易懸濁法を用いた経胃瘻投与など
大桑恵子	甲状腺微小乳頭癌に対する診断・治療－反応神経浸潤の予測を術前超音波検査により検討してみる－
大宜見由奈	反応神経浸潤を有する甲状腺乳頭癌症例の長期予後
齊藤芙美	外科的治療を要した橋本病症例の検討
鈴木章史	伊藤病院での分子標的薬導入の取り組み
友田智哲	癌性胸水を呈した甲状腺乳頭癌の予後について
正木千恵	シンポジウム 甲状腺微小癌に対する診断・治療－反応神経浸潤の予測を術前超音波検査により検討してみる－
大野希	早期離床を目指した甲状腺手術後の至適鎮痛薬の探求
大須診療所 樺秀三千	甲状腺内迷入副甲状腺腺腫に非機能性副甲状腺嚢胞を合併した原発性副甲状腺機能亢進症の1例

上記のほか、多数の医師が座長を務めました

# 中澤博江先生を偲ぶ

伊藤病院 院長 伊藤公一

10月11日早朝、東海大学医学部名誉教授・中澤博江先生が73歳で急逝された。直前までお元気であったゆえに、突然の出来事に未だ信じられない気持ちだ。

甲状腺ホルモンが心臓の働きに与える影響は限りなく大きく、バセドウ病や橋本病などの機能性疾患が不整脈などの循環器異常に、しばしば陥ることがある。また全身麻酔下で、心臓を患う患者様の手術を行う際には、入念な検査や投薬を行わなければならない。

そこで当院では、そのような危険な状況の診療を、循環器内科の専門家で、その世界のリーダー的存在であった中澤先生に御相談差し上げていた。その期間は実に38年間に渡り、中澤先生よりは医師に限らず、臨床検査技師や看護師、薬剤師と幅広く、直接的な指導に受けることに加え、院内の研究会や会議で講義を頂き、日々の安全な医療に繋がっていた。

中澤先生は、その卓越した診療技術とともに甲状腺と心臓に関する臨床研究の大家であり、多くの医学業績を残された。



そして中澤先生は、いつもお洒落で、活発な女性であり、増加の一途をたどる女性医師のロールモデルであったことも特筆したい。

中澤博江先生に教わった診療姿勢と技術を忘れることなく、先生が当院に残された膨大な診療実績と研究成果を大切にしつつ、今後も「甲状腺を病む方々のために」尽くしていくことが、私ども伊藤病院スタッフの使命と決意している。合掌。

## 中澤博江先生 略歴

東海大学 名誉教授  
1967年-1976年 慶應義塾大学医学部循環器内科入局  
1973年-1976年 ニューヨーク州立バッファロー大学留学  
1976年-1984年 慶應義塾大学医学部循環器内科助手  
1984年-1988年 東海大学医学部 講師  
1988年-1994年 東海大学医学部 助教授  
1994年-2006年 東海大学医学部 教授

## 伊藤病院での業績

- ・1977年～伊藤病院非常勤医師 循環器専門外来を担当
- ・伊藤病院研究会  
第5回(1979年2月・青山ダイヤモンドホール)  
「甲状腺機能亢進症と循環障害」 慶應義塾大学病院 中澤博江  
第21回(1990年3月・富士フィルム講堂)  
「甲状腺ホルモン異常と心臓」 東海大学 中澤博江
- ・クリニカル・カンファレンス(2015年2月21日)  
「心房細動と脳卒中・全身性塞栓の予防ーワルファリンと新規抗凝固剤についてー」

## 2016年11月の外来診療休診について

毎年、春と秋には甲状腺疾患に関連する学術集会が開催されております。これらの学術集会で知識の吸収や当院での研究成果を発表することは、専門病院としての責務と考え、多数の医師および職員が参加し、その成果を日々の診療に役立てております。

特に、2016年11月に開催される日本甲状腺学会学術集会には、多数の医師が不在となりますので、誠に申し訳ございませんが、期間中は外来診療を休診とさせていただくことといたしました。

また、休診前後の診療日は外来が通常より混雑することもありますので、早めの日程でのご来院をご検討くださいましたら幸

いです。

患者様にはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

## 休診日

2016年11月4日(金)～5日(土)

※11月3日(木)は「文化の日」のため休診です。

2015年12月 伊藤病院

## 当院は被災地支援に積極的に参加しております

### ◆福島県甲状腺超音波検査 3

～甲状腺超音波検査認定試験 試験官～

伊藤病院 内科 國井葉

「福島県民健康管理調査小児甲状腺検査」への取り組みの一環である、超音波検査者の育成プログラムへの参加もすでに3回目となりました。

プログラムの参加も慣れてきて、朝も通勤感覚で福島県にある試験会場に向かうようになりました。東京駅から福島駅まで新幹線で早くて1時間32分、朝出発しても10時からのミーティングには十分間に合います。東京から大宮を通り、郡山を過ぎれば、次は福島駅です。しかし当日、福島駅におりたち、周囲を見回し試験会場となる星総合病院までの道のりが記憶と違いました。急いで、事前にもらっていた資料を確認すると星総合病院の住所は「福島県郡山市」と記載されていました。「確認」の重要性をかみしめながら新幹線で郡山へ引き返し、プログラムに参加しました。

今回は、甲状腺超音波検査認定試験(試験の流れはVoice前号参照)の筆記と実技、両方の試験官をしてきました。受験者は減少してきており、筆記試験を受ける方はわずか16人でした。1時間半の試験時間も後半に入ると見直しも数回済んでしまい、時間を待つ方が大方になりました。私も終了時間を待つのみ、ちょっと時間が出来てしまいました。ここで、今朝学んだ「確認」です。名前が記載されているかと受験番号がしっかりマークシートで塗りつぶされているかを確認して回りました。皆さんしっかりされており、受験者の方に見落としはありませんでした。

一方、実技試験は変わらず、多くの方が受験をしていました。被検者であるスタッフに、大きな甲状腺腫瘍があると、受験者は大変所見を書きやすいのですが、小さな病変しかない被検者にあたってしまうと病変を探すのに苦労していました。なんだか可哀想な気がしてしまいましたが、実践では小さな病変も見逃さない検査が必要になるため、評価は公正に行っていました。

実技試験で不合格となった方には、我々超音波専門医がマンツーマンで指導を行う機会があります。次回の甲状腺超音波検査認定試験は2月にあります。それまでに、少しでも多くの方々に合格できるような指導ができればと思います。

### ◆東日本における豪雨災害に対する支援活動に参加しました

9月9日から11日にかけて関東・東北で発生した豪雨では、8名の方が亡くなられ、多数の建物倒壊、浸水などの被害が発生しました。この災害の支援活動に、災害支援ナースの資格を持つ当院の看護師2名が参加しましたので、ご紹介いたします。

#### 伊藤病院 病棟主任 二階堂名奈

災害支援ナースとは、大規模自然災害発生時に日本看護協会の要請により災害時の看護支援活動を行う看護師のことで、伊藤病院には現在18名の登録者がいます。私はこのたび、9月発生 of 「関東・東北豪雨」のため、茨城県常総市の避難所へ災害支援活動に赴きました。避難所では約18名の避難者がおられ、高齢の方や障害のある方の転倒転落予防のための活動や感染予防活動などに視点をおいて活動しました。また、長期化する避難所生活では、不眠やストレスを自覚される方が多くおられ、避難者の方々のそばに寄り添い、しっかりと話を伺うことに注力しました。今回は1泊2日と非常に短い日程ではありましたが、災害支援活動は発生後の時期に応じた臨機応変な対応が必要とされるということを改めて実感しました。今後も起こりうる災害支援時にすぐに活動ができるよう、伊藤病院看護部では災害支援ナースの新規養成や資格更新を計画的に行っていきます。

#### 伊藤病院 病棟 湯澤陽子

9/20～9/21に日本看護協会からの要請で、茨城県常総市において、災害支援活動をしてきました。現地での活動は、各避難所において活動展開は異なるものの、市内の状況は、発生から数日間経過していることもあり、水害によってでたゴミが沿道に積み重なり、場所によっては地面への消毒散布がすすめられている状況でした。前回、東日本大震災の支援活動から、私自身、今回で2回目の支援活動となりますが、病院全体での勤務などの配慮もあり、支援活動に専念することができ、感謝しております。また被害に遭われた方々には、一日も早い復興を願っております。



湯澤陽子看護師

二階堂名奈看護師

今後も甲状腺疾患専門病院として引き続き支援活動を行ってまいります。

## 医療の国際化に向けて

### ◆第7回日仏医療マネジメント研究会を主催しました

8月31日から9月4日まで、伊藤院長が国際医療福祉大学 高橋泰教授とともに医療機関の管理者を中心とするメンバーでフランスの医療・介護についての研究会に行ってきました。

フランスでは、診察・検査・薬の処方などが分業制になっているなど、独自の部分もありますが、国民皆保険制度や、病院も公的・私的な施設があるなど、日本との共通点も少なくありません。その中で高齢者医療についてさまざまな試みがなされており、参考にすべき点が多くあります。今回、現地の高齢者医療・介護を提供している施設で、管理者や現場職員からフランスの現状を伺うとともに、日本の医療制度の紹介と上手くいっている点や問題点についてディスカッションを行い、大変充実した研究会となりました。



### ◆第15回国際甲状腺学会で発表しました

伊藤病院 内科 渡邊奈津子

5年毎に開催される国際甲状腺学会が10月18日から23日まで米国オーランドで開催されました。

この学会は、米国甲状腺学会、アジア・オセアニア甲状腺学会、欧州甲状腺学会、ラテンアメリカ甲状腺学会の合同で行われ、世界各国から甲状腺の専門医が集まり、甲状腺疾患について最新の情報を発表し活発に意見を交換する場です。当院から吉村、宇留野、吉原、齊藤、渡邊の5名が参加いたしました。吉村医師はバセドウ病放射性ヨウ素治療時の前治療の工夫について、宇留野医師は未分化癌の治療戦略について、吉原医師はバセドウ病の骨代謝について、齊藤医師は甲状腺癌の脳転移と腫瘍塞栓について発表しました。渡邊は甲状腺原発MALT(マルト)リンパ腫の長期予後について、それぞれ世界的にみても最大規模で検討を行った結果を示し、光栄なことにYoung Investigator Travel Grant Awardという賞を頂きました。

### ◆First world congress of neural monitoring in thyroid and parathyroid surgery の報告

伊藤病院 外科 友田智哲

2015年9月17～19日にポーランドのクラコフで開催された上記学会へ出席して参りました。

甲状腺手術後の合併症のひとつである反回神経麻痺を避ける方法としては、1930年代にFrank Laheyらが、肉眼的に神経を確認し温存する方法を提唱してから現在にいたるまで、その麻痺の頻度はほとんど改善されてきませんでした。その中で2010年代から、各国で使用されはじめた術中神経モニタリングは、麻痺の頻度を減少させ、術後の両側反回神経麻痺による気管切開をさける方法のひとつとして、注目されています。

第一回の神経モニタリングの学会であった為、その原理、歴史、animal modelでの結果、今後のガイドラインの提唱、各国の現在の使用状況や保険関連、教育システムの構築方法、現在の使用方法での問題点、利点等について、様々な議論が活発に行われました。

特に日本ではまだ使用できないContinuous-Intraoperative nerve monitoring(持続術中神経モニタリング)を活用しての、様々な議論には大変興味を惹かれました。この持続神経モニタリングでは、術中に神経損傷の可能性が高くなるとアラームがなるように設定されており、早い段階で原因を解除できれば、術後の反回神経麻痺をさける事ができます。早く日本でも使用できるようになれば、患者さんにとっても多くの利点があり、我々外科医も安心して手術に望めると思います。



吉村弘内科部長



宇留野隆医師



吉原愛医師



齊藤美美医師



渡邊奈津子医師

## 医療の国際化に向けて

### ◆第6回国際観光医療学会学術集会で発表しました

伊藤病院 国際医療室 テイクン

去る9月5日、第6回国際観光医療学会学術集会在医療法人社団はらだ病院の主催のもと、北海道旭川で開催されました。

本学会は、医療関係者を始め、旅行会社、民間企業など多岐にわたる方々が参加する学会です。毎年の議題でもありますが、日本の医療がより国際化となって、観光医療を発展するため、様々な問題点を議論できる視点で開催されてきた中で、今年もいろいろな領域に従事する多くの方々が参加され、討議を行いました。

私が発表した内容としては、5カ国語のホームページの掲載、更に、中・韓国語の無料通訳を提供することにより、外国人受診患者様が昨年比に比べ2倍になる見込みであることや、民間病院として2名の通訳が常駐されていることなどが参加された方々の関心を集め、多くの質問が寄せられました。

これまで外国人患者様を対応してきた中で築いてきた礎を、更に増え続けると予想される外国人患者様のために、当院ならではの甲状腺疾患専門診療を提供し、引き続き邁進していく所存です。

### ◆新華社 日本総局の取材を受けました

伊藤病院 国際医療室 テイクン

8月17日より3日間をわたり、「新華社 日本総局」の取材を受けました。新華社は経済情報、報道写真を提供する報道機関であり、中国大陸部における法定報道監督管理機関でもあります。

昨今、ビザ緩和や円安の追い風を受け、訪日する外国人が増加している傾向が顕著になっている中、日本の先進医療を求め、はるばる海外から受診・検査・手術のため来日する患者数も増える一方です。

当院にも日本在住の外国人患者様や、海外からも多くの外国人患者様が来院しております。今回、新華社日本総局の記者は、当院を受診するために中国から来日された患者様を対象に、多くの国の中で日本を選んだ理由、日本の医療の優れたところは何か、そして、医療機関にかかり感じられたところなどを中心に取材をされました。

取材された内容は新華網(にほんチャンネル)よりご覧いただけます。

 [http://japan.xinhuanet.com/2015-10/01/c\\_134677155.htm](http://japan.xinhuanet.com/2015-10/01/c_134677155.htm)



### ◆中国天津医科大学腫瘍病院からの見学

伊藤病院 国際医療室 李順花

昨年に引き続き9月30日より2日間、天津医科大学腫瘍病院の甲状腺腫瘍科の于主任、鄭主任、そして超音波室の張主任が見学に訪れました。

天津医科大学腫瘍病院は治療、教育、研究、予防の一体化となった三級甲等(中国の病院は三級甲がトップレベルです)腫瘍専門病院であり、中国最大規模のがん予防研究センターでもあります。

見学初日、于主任と鄭主任は当院の手術室を見学され、翌日には、長濱外科部長の診察を見学し、診察終了後には手術の手法、そして診察時の疑問などについて質問を投げかけました。又、超音波室の張主任は、エコー検査室およびエコー下穿刺吸引細胞診を見学され、中国ではエコー診断治療科医師が行うものを、日本では臨床検査技師が行う事の違いに驚かれました。そして、エコー下穿刺吸引細胞診の時に用いるプローブカバーのつけ方の違いなど細かく問を投げかけ、天津医科大学腫瘍病院との違いなどについて臨床検査技師と意見を交わしました。

わずか2日にわたる短い見学期間でありましたが、3名の医師は去年と異なった多くのことを見学、吸収し、今後、天津医科大学腫瘍病院の患者の治療に活かしたいという抱負を持ち、帰国の途に就かれました。



鄭主任、長濱外科部長、張主任、于主任

### ◆日本医療・病院管理学会学術総会で発表しました

他の記事でもご紹介のとおり、当院は専門病院としての立場から、積極的に医療の国際化に向けて取り組んでおります。

医療観光という言葉が一般化して久しくなりますが、当院でも伊藤院長が観光庁主催の「インバウンド医療観光に関する研究会」の立ち上げ当初から参画しており、日本の医療を求めて渡航される方や、日本在住の外国人の方など、日本語のコミュニケーションに不安がある場合でも、等しい医療サービスをご提供できるよう取り組んでおります。

これらの取り組みについて、11月5日～6日に福岡で開催された第53回日本医日本医療・病院管理学会学術総会において、伊藤院長が発表してまいりました。この発表が他の医療機関の参考になりましたら幸いです。

## 学会活動

### ピックアップ 第58回 日本甲状腺学会学術集会

2015年11月5日～7日に、福島県にて第58回日本甲状腺学会学術集会が開催されました。

この学術集会は、甲状腺疾患の臨床、基礎研究に関わる医師が国内外から集まり、活発な発表・討論が行われる場です。例年、当院からも外科医師・内科医師問わず多数の医師が参加しており、今年も臨床研究の成果をまとめた下記の10演題が採択され、情報発信を行いました。このほか、杉野副院長、吉村内科部長、吉原医師が演題発表の座長を務めました。

今後も国内外の学会に積極的に参加し、甲状腺疾患診療について、最新の知識を習得し、日々の診療に活かすべく、取り組んで参ります。

#### 発表演題

北川 亘	エクレーシス試薬カルシトニンの基礎的・臨床的検討
岩久建志	成人女性における甲状腺超音波検査での正常甲状腺容積の検討
大江秀美	ヨウ化カリウム投与による自律性機能性結節の甲状腺機能への影響
國井 葉	超音波で環状高エコーを伴った10mm以下の結節の病理所見
鈴木菜美	甲状腺機能異常と睡眠障害の頻度の検討
鈴木美穂	中毒性単結節性甲状腺腫(toxic adenoma; TA)の131I内用療法(RIT)後にバセドウ病を発症した2症例
服部奈緒美	当初甲状腺原発悪性リンパ腫が疑われたが、縮小増大を繰り返し自然消退した反応性リンパ球浸潤の一例
松本雅子	TSAキット「ヤマサ」EIAの診断の有用性の検討
吉原 愛	若年で発症したバセドウ病患者における骨粗鬆症の頻度と骨代謝マーカーの変化について
渡邊奈津子	初発バセドウ病(GD)におけるバセドウ病眼症(GO)悪化の予測



- 第19回 茨城県地域医療学術集会(茨城・8/23)  
鈴木章史 「きつと役立つ甲状腺診療あれこれ その3 2015夏」
- 第5回 Hitachiomiya Medical Session(大宮・9/10)  
鈴木章史 「甲状腺髄様癌について 腫瘍マーカーとUS所見」
- 第2回 東京TCATカンファレンス(9/11)  
鈴木章史 「あの人は今… ～前回検討症例のその後」
- 第57回 全日本病院学会(札幌・9/12～13)  
岡田依里 「エンドオブライフケアをマズローの欲求五段階理論の観点から考える～A氏の事例を通して～」  
西塚永美乃 「早期離床を目指した術後鎮痛～アセトアミノフェン静注液とペンタゾシン注射液の前向き比較試験」  
川浪智彦 「ガンマカメラを用いた甲状腺摂取率測定方法の検証」  
塩谷純子 「分子標的薬導入へ向けた取り組み」  
高田博史 「予約システムを導入した診療体制の構築について」



- 第23回 日本外科学会生涯教育セミナー(東京・9/19)  
杉野公則 「甲状腺良性疾患」
- 第35回 日本乳腺甲状腺超音波医学会(岩手・9/19～20)  
北川 亘 「当院で経験したSolitary fibrous tumorの4例」  
松本雅子 「発症前の超音波所見の変化が追えた甲状腺MALTリンパ腫の2例」  
天野高志 「高エコーを伴う結節についての検討～特に環状高エコーに関して～」  
國井 葉 「教育セミナー 11」甲状腺一用語解説
- 第16回 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会(千葉・9/25～26)  
服部奈緒美 「下垂体腫瘍を伴う不適切TSH分泌症候群の一例」  
吉村 弘 座長・挨拶「難治・再発性Basedow病への治療戦略」  
吉原 愛 特別講演「難治性バセドウ病への治療戦略」症例提示と内科治療  
渡邊奈津子 特別講演「一卵性双生児から学ぶ遺伝と環境—一卵性双生児におけるBasedow病：発症者而非発症者の違い(症例)と疫学」
- 第2回 甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会(東京・10/31)  
友田智哲 「術中神経モニタリング(IONM)施行時の問題点改善に対する取り組みについて」

## 講演活動

### ピックアップ ロシュセミナー in 仙台(8/22)

8月22日に伊藤院長が「臨床検査技師に知ってもらいたい甲状腺疾患の話」をテーマに、臨床検査技師を対象に講演しました。

甲状腺疾患の診断には、血液検査、超音波検査が欠かせません。また、検査機器の進歩により、検査の精度もいちじるしく向上しています。このように検査が高度化する中で、検査を専門的に行う臨床検査技師は医療には欠かせない存在となっています。

当日は、会場にお集まりになった80名以上の臨床検査技師の方々に、甲状腺疾患のご説明とともに、診断における検査の重要性などをお話いたしました。



### ■骨転移カンファランス in 慶應(東京・8/19)

鈴木章史 「伊藤病院紹介 & 症例提示」

### ■ロシュセミナー in 仙台(8/22)

伊藤公一 「臨床検査技師に知ってもらいたい甲状腺疾患の話」

### ■平成27年度教育研修

[北見赤十字病院](北海道・8/27)

岩久建志

「甲状腺疾患の最近話題～超音波像と病理像の比較検討、並びに治療について～」



### ■日常診療で診る

頸動脈エコー・甲状腺エコー講演会(山口・8/29)

北川 亘

「甲状腺超音波検査のみかた～見逃してはいけぬ甲状腺エコー所見～」



### ■エーザイ株式会社「Medical Advice」(東京・10/1)

宇留野隆 「甲状腺未分化癌治療戦略とLenvatinibの導入」

### ■エーザイ株式会社「Medical Advice」(東京・11/2)

鈴木章史 「伊藤病院での甲状腺癌診療～LENVIMA導入と現況～」

## 伊藤病院トライアスロン部活動記録～2015秋～

伊藤病院 外科 大桑恵子

私たちの部は、今年で設立5年目になります。水泳の得意な人、自転車がとても好きな人、とにかく走るのが好きな人が集まり、水泳・自転車(バイク)・ランをリレーしようと呼びかけました。今年は9月26日に、千葉県の一宮海岸付近を舞台とした「九十九里トライアスロン」に出場してきました。計8名3チームで参加してまいりました。大会数日まえ関東では雨が降り続き、当日の天気も危ぶまれましたが、当日は雨もあがり晴天ではありませんでしたが、曇りの中での競技開始となりました。

スイムは一宮川の河口でのコースですので、水中は濁っていましたが、海と比べ波はほとんどありませんでした。数日前からの雨のため、水温が低く足がつってしまう選手がちらほら、レスキュー隊とともに陸に戻ってくる中、リレーのウェーブスタートです。そんなコンディションの中、スイム担当はみな無事に完泳。しかし実はこの大会、スイムゴール地点からバイクのトランジションエリアまで1kmという難関があるのですが、道沿いの声援をたくさん頂き裸足で走ってバイクへつなぎました。バイクは40km、有料道路を使ったワンウェイコースは、きれいに舗装されたフラットコースです。気持ちのよい風を切って全力で走り抜けた選手もいれば、途中部の間に追い抜かれ、失速気味になる選手も……。ランは、海を横目に景色の良いコース、ゴールまでラスト十数メートルは、ラン・バイク・スイム3人でのランニングフィニッシュで競技終了となりました。レースを終え完走メダルを受け取ると、ものすごく空腹感に襲われ、勢いにまかせ会場に隣接しているフードエリアでカレーやお弁当、そして焼きハマグリをたいたりました。今回も充実した気持ちのよい大会となりました。今後もさらにトレーニングを積んで、トライアスロン部は頑張っ参ります。





## ヨウ素を含まない商品を掲示しています

伊藤病院 臨床栄養室 高橋優香

ヨウ素制限中の患者様が飲食物を購入する際は、原材料を確認し、禁止食材を含まないものを選んでいただいております。

「原材料を見ながらの商品購入は大変」、「ヨウ素制限中でも買えるリストを売店にもほしい」と患者様よりご意見・ご要望をいただきました。

そこで、ご入院中の買い物や外来受診時の待ち時間に安心して商品を購入いただけるよう、院内の売店(たから売店)に、ヨウ素制限中の禁止食材を含まない「お菓子」、「お飲み物」、「マフィン」をご紹介したリストをご用意いたしました。

ヨウ素制限中の患者様で売店ご利用の際は、ぜひご利用ください。

### ◆マフィン

- |        |          |
|--------|----------|
| アールグレイ | バナナ      |
| チョコチップ | ココナッツ    |
| 塩キャラメル | シナモンシュガー |



ヨウ素  
制限中も  
OK!

### ◆飲み物

- おーいお茶(濃い茶・ほうじ茶・玄米茶)  
伊藤園 麦茶・ジャスミンティー  
伊右衛門  
黄金烏龍茶  
タリーズ ブラック・ブレンド・デミタス・カプチーノ  
伊藤園 1日分の野菜  
TEA'S TEAミルクティー  
ブルガリアのむヨーグルトプレーン  
ペプシストロングゼロ



### ◆お菓子

- オレオビッツサンド  
リッツビッツサンド  
歌舞伎揚げ  
BAKE  
Ghana  
DARS  
カロリーメイト(チーズ)  
PRETZサラダ  
TOPPO  
じゃがりこ(サラダ・チーズ)  
チップスター(うす塩・コンソメ)  
甘栗むいちゃいました  
ビスコ  
フリスク(スーパーミント、レモンミント、ブラックミント)  
ミンティア(ワイルドクール、グレープ)  
ロッチ のど飴



- 特濃ミルクコーヒー飴  
特濃ミルク8.2飴  
スーパーカップ(超パニラ)  
ハーゲンダッツ(パニラ、グリーンティー、ストロベリー、マカダミアナッツ)

2015年12月現在の内容です。商品によっては、原材料の変更に伴って禁止食材が含まれる場合があります。売店に設置しているリストを随時更新しますので、購入時にご確認ください。

## モダンフィジシャンで特集「伊藤病院スペシャル」が組まれました

新興医学出版社が一般臨床医向けに発行している医学雑誌「Modern Physician(モダンフィジシャン)」9月号において、「伊藤病院スペシャル 甲状腺疾患の臨床力を磨く」という特集が組まれました。

最近では、健康診断でも甲状腺の異常が指摘されることも増え、身近な病気である一方、甲状腺疾患の専門医や専門施設は非常に数が少ないのが現状です。

甲状腺疾患は、特有の症状というものが非常に少ないため、他の病気との判断が難しく、また甲状腺疾患の中でも、診断が難しいものも少なくありません。今回の特集記事では、甲状腺疾患の診断と治療方法について、当院医師が専門病院として診療の実例を挙げながら詳細にご説明しております。

患者様の一番身近にいるかかりつけ医の先生方をはじめ、他の診療科の先生方の診療の場で、少しでもお役立ていただけましたら幸いです。



# 表参道寄り道スポット

## john masters organics TOKYO

**オ**ーガニックを五感で感じることのできるライフスタイルストア「john masters organics TOKYO」。表参道駅A1出口より徒歩1分、



当院より徒歩2分、店内はナチュラルテイストの内装でシンプルかつ、オシャレな空間を演出しています。



「john masters organics TOKYO」では、日本初の直営ヘアサロンを中心とした4つのセクションで新しいオーガニックライフを提案しています。カットやヘッドスパで、トレンドのヘアスタイルを適えるThe Salon、オールハンドトリートメントで至福のひとつへと誘うCleanse Salon、鮮度の高い野菜やフルーツを使ったジュースで身体を中からイキイキと導くInner Beauty Bar、オーガニック4ブランドをセレクトすることができるjohn masters organics select。

中でも手軽に楽しむことができるInner Beauty BarではNew Yorkで人気の高いコールドプレスジュースを提供しています。コールドプレスジュースとは、スロージューサーで絞り出したジュースであり、高速ジューサーの約2倍の量を圧搾する、酸化しにくい抽出方法です。低速回転させて素材を押しつぶすように搾るため、摩擦の熱で失われやすい酵素を壊さず摂ることができます。また、国産の有機野菜・無農薬の新鮮で旬の野菜やフルーツに水を加えず作るため、素材そのものの味を楽しむことができます。酵素を効果的に摂り入れられるよう、作りたてのフレッシュな状態で提供することにより、代謝をアップさせることができ、デトックス効果も得られます。各種1本(200ml)1,000円で提供しており、トッピングを各種185円で追加することができます。女性にとってスタイリッシュにボディケアをできる手軽さがとても嬉しい一品です。店内または店頭のテラス席でお楽しみ頂くことができる他、そのままテイクアウトもして頂けます。

自身の身体を労りケアするためにも、ぜひお好みの味を見つけ、いきいきとした美しいヘルシーな身体づくりをしてみてください。

店名 john masters organics TOKYO  
住所 渋谷区神宮前5-1-6イビルパラッツィーノ表参道1F  
TEL 03-6433-5298  
営業時間 月～土 11:00-21:00 (日・祝日は20:00まで)  
定休日 不定休

### お店の方から一言

「ホンモノのオーガニックを五感で感じるライフスタイルストア」として、オーガニックを堪能できる4つのセクションから、贅沢で洗練された最高のサービスと時間を提供しています。

# 表参道ランチ&グルメ情報

## うにしゃぶ 寿司 はながこい 青山本店

**🍴** 表参道B5出口から徒歩5分、青山通り沿いにある入り口から階段を下っていくと、やわらかい照明に包み込まれた和の空間が広がっています。こちらが、今回ご紹介するお店「はながこい青山本店」です。看板メニューはお店の名前にもなっているうにしゃぶ。鮮やかな山吹色に染まった濃厚なうにのスープに新鮮な野菜や魚介類をくぐらせれば、素材それぞれの持つ味わいしっかりと絡まったうにのkokoroが相まって、旨味を堪能できること請け合いです。



ランチメニューの一番人気は親子丼。鶏肉は宮崎県の契約養鶏場から、卵は相模原の養鶏場から、それぞれ直送の良質な素材を使用。とろとろの玉子に包まれた鶏肉は柔らかくて甘みがあり、食べ応えも十分！他にも海鮮丼やチキン南蛮など、ランチならではの丼ものは海の幸も山の幸も揃っており、選ぶのに迷ってしまいそうです。



また、メニューには全て英語表記が施してあるなど、海外からいらっしゃるお客様も気軽にお食事を楽しむことができます。

温かいものが恋しくなるこの季節、冬の味覚を味わいに、表参道から少し足を伸ばしてみてくださいはいかがでしょうか。



### おすすめメニュー



親子丼

### お店の方から一言

鮮度が命の海鮮魚介は築地から毎日直送で仕入れしています。  
Voiceをご提示の方に特典  
・ランチタイムはお客様100円引き  
・ディナータイムはお会計から15%OFF  
をご提供いたします！

店名 うにしゃぶ 寿司 はながこい 青山本店  
住所 渋谷区渋谷1-1-8青山ダイヤモンドビルB1  
TEL 03-3498-3228  
営業時間 ランチ11:30～14:00 (日曜、祝日休み)  
ディナー17:00～23:00  
(フードラスト22:00、ドリンクラスト22:30)  
定休日 年中無休(12月31、1月1,2,3,4日休み)

このコーナーでは、伊藤病院周辺にある通称で親しまれている通り・ストリートについて、広報誌委員が散歩して見つけたものや、諸説ある由来をご紹介します。

## 竹下通り

急勾配になった『竹下通り』入口から通りを見下ろすと、目前には行き交う人々や、左右に並ぶさまざまな店が、ひしめきあっているように見えます。整然とした『表参道』とは対照的な、混沌とした佇まいの『竹下通り』。賑やかな通りの裏には、閑静な住宅街がびったり寄り添っているだけに、この通りの放つパワーの凄さが浮き彫りになるようです。原宿駅竹下口の乗降客数が増加し始めたのは昭和55(1980)年頃。

『竹下通り』近辺は、戦後は焼け野原となり人通りもまばらでした。昭和30年代に入っても平屋が多く、原宿駅ホームから通りの中ほどまで見通せたといいます。昭和47年頃にビルが点々と建ち始め、昭和49年、「パレフランス」ができた頃から、人通りが少しずつ増え始めたようです。

原宿初のクレープ専門店が昭和52年にできました。開店当時、クレープはまだ一般に馴染みが薄かったのですが、雑誌で紹介されたのをきっかけに人気が高まりました。その後、原宿のクレープ専門店の数も増え、竹下通りや原宿を象徴する商品として人気を得ました。

そして、「竹の子族」の出現。昭和54年にオープンした竹下通りのブティック「竹の子」の独特の衣装に身を包み、派手な化粧に安いアクセサリーをつけて、80年代ポップスに合わせてホコテン(歩行者天国)や代々木公園で踊る、主に中学生・高校生たちのことです。「竹の子」の存在によって、竹下通りの知名度は一気に上がり、ローティーンの流行の発信地としての地位を不動のものにしました。

次に竹下通りを席卷したのはタレントショップ。東京ばかりでなく、近隣の地方都市から中学生や高校生たちが、時には修学旅行の団体がやってくるようになりました。最盛期の昭和63年頃にはタレントショップは50数店を超えたといえます。

しかし竹下通りの流行サイクルは短く、数年でほとんどが姿を消したようです。

### ◆名前の由来

竹下町の地名からといわれています。昭和40年の住居表示変更以前は明治神宮前1～4丁目あたりが原宿町。5～8丁目あたりが稲田町。2つの町に挟まれた細長い地域、ちょうど今の竹下通り沿道の町名がすべて神宮前となり、通り名、商店街名として残りました。



## 伊藤院長が日本臨床外科学会の広報委員を拝命しました

7月1日付けで、伊藤院長が日本臨床外科学会の広報委員に委嘱されました。

日本臨床外科学会は、1937年に発足し、臨床現場の第1線で活躍される医師達2万人が会員となって構成されている学会で、外科の臨床上の問題点を様々な角度から検討する場となっております。

今回伊藤院長が加わる広報委員会で、研修制度・セミナーなどの情報提供や、会員相互・本部と各地の支部間のスムーズな情報連携の構築、一般の方向けの情報提供などを行っております。

日本臨床外科学会 広報委員会の一員として、今後もさらに充実した情報発信・連携を進めるべく、取り組んでまいります。



## 茨城県立中央病院への手術協力

伊藤病院 外科 鈴木章史

私の出身地である茨城県は、人口当たりの医師数が全国でワースト2(ちなみにワースト1は埼玉県)であり、医師不足が深刻です。その中で、地理的に茨城県のほぼ中央に位置し、公的病院の中心的な役割を担っている茨城県立中央病院は、医師になって3年間の初期研修を行った病院です。外科医としての土台を培った病院からバセドウ病手術の協力依頼があり、長瀧外科部長に相談し快諾を頂けたため、今年9月より月に一度の頻度で伺っています。主に若手外科医とともに手術を行いますが、出来るだけ甲状腺手術に興味を持ってもらえるように、また術前評価や術後管理についても、伊藤病院でのノウハウを伝えられればと考えながら行っています。



## 渡邊医師・吉原医師の論文がアメリカの医学雑誌に掲載されました

吉原医師は「Thyroid」、渡邊医師は「The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism : JCEM」に、それぞれ論文が掲載されました。どちらの雑誌も専門審査を行った論文のみ掲載しており、アメリカの診療ガイドラインにも大きな影響力を持っています。

下記に論文の概略をご紹介します。



との連携によって眼科的診察に加えMRI検査を行い、より慎重に目の状態を評価して、放射性ヨウ素治療が可能かを評価していることが関係しているものと考えられました。

放射性ヨウ素治療時にバセドウ病眼症をどのように診察していくのがよりよいか、今後とも検討を続けていきたいと思っております。

### ◆吉原愛医師

*Substituting Potassium Iodide for Methimazole as the Treatment for Graves' Disease During the First Trimester May Reduce the Incidence of Congenital Anomalies: A Retrospective Study at a Single Medical Institution in Japan*

バセドウ病は20～30歳代の女性に比較的多い病気です。ご妊娠、ご出産については計画する段階で主治医と相談することが大切です。バセドウ病の患者様のご妊娠において最も大事なものは、甲状腺ホルモンがきちんと正常にコントロールされていることです。妊娠初期の期間中のMMI(メルカゾール)内服で胎児に影響する可能性がわずかにあるとすることで、現在ではPTU(チウラジール、プロパジール)が妊娠初期は望ましいとされています。PTUが副作用で使用できない場合、妊娠初期にMMIを無機ヨウ素(ヨウ化カリウム)に変更して甲状腺機能をコントロールする方法を当院ではとっています。妊娠初期にMMIから無機ヨウ素に変更したことで、胎児への影響の頻度は減りました。無機ヨウ素で加療した母親から出生した新生児の甲状腺機能異常も認めなかったことで、安全性の高い治療法であることを報告いたしました。

### ◆渡邊奈津子医師

*Radioiodine-Associated Exacerbation of Graves' Orbitopathy in the Japanese Population: Randomized Prospective Study*

今回掲載されました論文の内容は、バセドウ病に対する放射性ヨウ素治療(アイソトープ治療)後のバセドウ病眼症に関する検討です。諸外国では、バセドウ病の方が放射性ヨウ素治療をした後にバセドウ病の目の症状(バセドウ病眼症)が悪化する可能性があることが報告されていましたが、もともとバセドウ病眼症が軽症であるとされてきた日本人でどの程度悪化するかについては明らかにされていませんでした。このため当院での集計を行ったところ、諸外国と比較しバセドウ病眼症悪化のため眼科的治療を要した方は極めて少ないという結果でした。人種的な違いに加え、当院では眼科

## 労働と看護の質向上のためのデータベース事業に参加しています

伊藤病院 病棟師長 石澤緑

今年度看護部では、日本看護協会が取り組む「労働と看護の質向上のためのデータベース(以下DiNQL)事業」に参加することになりました。DiNQLとは何か、どのようなことが期待できるのかご紹介したいと思います。



日本看護協会では、看護職が安心して働き続けられる環境整備と、看護の質向上を目指し、このデータベース事業を2015年度から本格的に実施しています。2015年度の参加病院数は、521病院3984病棟がDiNQLに参加しています。このデータベース事業DiNQLは、インターネット経由で全国の病院から、労働と看護の質評価指標データ(人員配置や労働時間、看護実践の内容、患者情報、医療安全データ等)を収集し、同規模・同機能を備える病院や病棟と比較したベンチマーク評価を行います。このDiNQLに伊藤病院のデータを入力すると、他の病院との違いや当院の強みと弱みが分かり、経年的な変化を確認することができます。

これから、データが蓄積していくことにより、伊藤病院の看護の質が可視化されていきます。DiNQLで得られた情報を活用し、看護実践の強化や職場環境改善に結びつけ、患者様へ提供する看護の質向上を目指していきます。

(このデータベース事業に提出するデータや情報は、患者様や職員の個人情報を含みません)



## 小学校の修学旅行を引率しました

伊藤病院 外来看護師 藤村沙亜羅

今年も東京女学館小学校6年生の修学旅行引率で、9月29日から10月2日まで中京地方に行ってきました。

今年は修学旅行前に寒暖差が激しかったこともあり、体調の優れないまま出発する児童が複数いたため、旅行先での悪化を心配していましたが、やはり数名の児童が体調を崩してしまいました。しかし、諸先生方やホテルの方のご協力で、速やかに病院へ連れて行き、児童や保護者を不安にさせることなく関わることが出来たのではないかと思います。

当院は小児の患者様が少ないため、関わる機会も多くはありません。ふとした瞬間に大人びた発言をすることもある女児たちですが、「体調はどう?」といったオープン・クエスチョンでは、なかなか自分の思いや状態を上手く表現出来ないことがわかりました。しかし、「はい」「いいえ」で答えられるようなクローズド・クエスチョンでは、答えを誘導してしまうことになりかねないということも実感しました。

自分の思いや状態を上手く伝えられない子ども達とのコミュニケーションを通し、普段の外来看護の中でのコミュニケーションを振り返る良いきっかけとなりました。



トヨタ博物館を熱心に見学する児童たち

## インターンシップを受け入れました

伊藤病院 広報室 熊野真悟

8月10日から12日の3日間、東京都立六本木高校の高校2年生3名が当院にインターンシップ(就業体験)にいらっしゃいました。

勤労観や職業観を養うことを目的とした教育の一環ではありますが、希望する生徒が夏休みを利用して自主的に参加する実習であり、最初は緊張していた実習生も、すぐに熱心に実習に取り組まれていました。

短い期間でしたが、院内の各部署での見学と業務体験を通して、それぞれの職種について理解を深めるとともに、多職種が互いに連携して診療をご提供するチーム医療についても学んでいただきました。

3名とも、将来の進路選択として看護師など医療関係に関心があったので、当院の実習を希望されたとのことです。その理由について伺ったところ「人のためになる仕事をしたい」という大変純粋な想いのお返事を聞き、胸が熱くなりました。私たちも初心を忘れず、業務に取り組み参ります。



## 国際医療福祉大学からの実習生を受け入れました

国際医療福祉大学は、1995年創設の医療福祉を専門とする総合大学です。そして、医療の経営管理と医療福祉を統合した「医療福祉・マネジメント学科」を開設し、広い知識を持った専門職の養成を行っています。

当院では、毎年、同学科の3年生を実習生として受け入れており、今年も2名が1ヶ月間、当院で実習を行いました。この度、実習生お二人からご挨拶をいただきましたので、ご紹介します。

### 国際医療福祉大学

医療福祉・マネジメント学科 寺内美咲



このたびはお忙しい中、4週間もの長い期間を私たちの実習のためにご協力いただき、本当にありがとうございました。実習をするのは初めての経験で緊張しましたが、職員の皆様が親切に接してくださりとても身になる実習ができました。大学で学んでいるものが実際の現場でどのように使われているのかを知ることができ、座学では得られないことを経験できて良かったです。診療情報管理士がどのように病院に携わっているか、この職の重要性を身をもって理解することができました。

他部署や普段見ることのできない場所も見学・実習させていただき病院の内部をたくさん知ることができました。この貴重な経験を今後の大学生活と就職活動に活かしていきたいと思います。

最後に、伊藤病院職員の皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 国際医療福祉大学

医療福祉・マネジメント学科 南澤佑佳



4週間、お世話になりました。長いようで短く感じた実習期間でしたが、将来を見据えた実りある学習となったと考えております。

診療情報管理士としての役割はもちろん、他部署の方々がどのように働きかけることで病院が円滑に機能し、質の高い医療を提供できるのかを実際の業務を通して学ばせていただきました。病院内部の全体的な流れを知ること、自分の中でより明確なビジョンを捉えることができました。一層の勉学とともに、この度の経験を活かした柔軟な思考の下、臨機応変に現場に臨むことのできる診療情報管理士になりたいと思います。

改めまして、お世話になりました職員の皆様、実習に協力いただきました伊藤公一院長に感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございました。

## 山本朋広議員をお招きして勉強会を開催しました

新国立競技場建設計画の白紙撤回に続き、ロゴの模倣疑惑などで大きく世間を騒がせている問題について、9月に『2020年東京オリンピック・パラリンピックの準備はどうなっているのか?』をテーマとして、山本朋広衆議院議員をお招きしてご講演いただきました。

山本議員は、オリンピック・パラリンピック大臣政務官を務められており、その立場からこれまでの経緯や問題点についてご説明いただき、来年初めには新たな競技場とロゴについて公開すべく、努力しているとお話を伺いました。

また、山本議員は文部大臣政務官、復興大臣政務官も兼任されており、オリンピックの他にも、福島第一原発視察時のエピソードや様々な分野のお話を伺うことができました。

2020年のオリンピック・パラリンピックまであと5年、心機一転して準備を進めていただきたいと思います。



## 病棟に自動販売機を増設しました

伊藤病院 患者サービス向上委員会

4階の病棟ラウンジに、手術を受ける患者様にご購入いただくバースーツや優肌絆、衛生用品などを販売する自動販売機を増設しました。

以前より、「入院中のパジャマで1Fの売店に行くのは恥ずかしい」とのご意見をいただいております。職員でも検討を重ねておりましたが、設置スペースの確保が課題となっておりました。

この度、昨年のラウンジの拡張工事とともにスリムな自動販売機が見つかり、設置することができました。

販売しているものには限りがありますが、少しでも快適な入院生活を過ごしていただけるよう、患者様からのご意見に耳を傾け、サービス向上に取り組んでまいります。



甲状腺ホルモンが過剰になる病気は、バセドウ病だけではありません。甲状腺ホルモンがなぜ高まっているかを診断することが、適切な治療を行う上で重要です。

今号では、甲状腺ホルモンが一時的に高まる「無痛性甲状腺炎」と、まれな病気ですが「甲状腺ホルモン不応症」についてご紹介します。

### 無痛性甲状腺炎

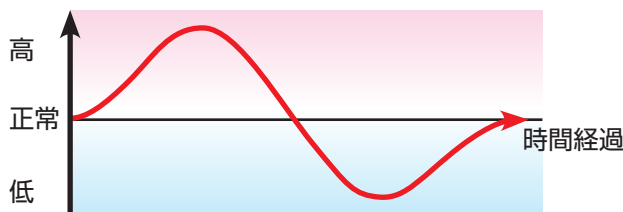
伊藤病院 内科 吉原愛



血液中の甲状腺ホルモン(FT3・FT4)が正常より高くなり、代謝が亢進した状態を「甲状腺中毒症」といいます。甲状腺中毒症の主な原因に、バセドウ病のように甲状腺自体の機能が亢進する「甲状腺機能亢進症」と、甲状腺が壊れることで内部に貯蓄されていたホルモンが漏出する「破壊性甲状腺炎」があります。無痛性甲状腺炎はこの「破壊性甲状腺炎」のひとつです。

無痛性甲状腺炎は、文字通り痛みはありません。甲状腺ホルモンは上昇するため、動悸や多汗、易疲労感を伴いますが、長くは続かず時間経過とともに正常化します。多くは1～2ヶ月、長くても4ヶ月以内に改善します。典型的な経過では、甲状腺ホルモンが正常化したあと低下症を経て、正常にもどります(図)。無痛性甲状腺炎は橋本病の患者様に多く、甲状腺機能は最終的に低下したままとなることもあります。

図)甲状腺ホルモン値



### <原因>

無痛性甲状腺炎は、橋本病やバセドウ病の寛解状態(バセドウ病がお薬の内服なしで落ち着いている状態)、更に産後でよく起こることから、原因には自己免疫が関与していると考えられています。また、ヨウ素(昆布など)を過剰に摂取したあとや、インターフェロン、GnRH誘導体といった薬剤でも起こることが知られています。

### <診断>

診断で重要なのはバセドウ病との鑑別です。甲状腺中毒症(FT4・FT3高値、TSH低値)の場合、抗TSHレセプター抗体(TRAAb※)が高値であればバセドウ病を考えます。また、超音波検査での血流評価も参考になります。TRAAbが陰性の場合には、TRAAb陰性のバセドウ病か、無痛性甲状腺炎を鑑別する必要があり、確定診断には、放射性ヨウ素摂取率(シンチグラフィ)の検査が有用です。

※TRAAb：甲状腺を刺激する自己抗体で、バセドウ病では陽性を示す確率が高くなります。

### <治療>

甲状腺ホルモンが高いのは、甲状腺からホルモンが漏出しているからです。したがって、甲状腺細胞はホルモンを産生していないため、バセドウ病で使用する抗甲状腺薬は無効です。ホルモンが高いことで起こる手指の震えや動悸については、その症状を緩和するお薬を併用します。甲状腺ホルモンがその後低下した場合には、むくみや倦怠感を感じやすくなりますので、症状が強い場合には甲状腺ホルモン補充療法を行います。

## 甲状腺ホルモン不応症

伊藤病院 内科 渡邊奈津子



### <甲状腺ホルモン不応症とは>

不応とは、反応しない(反応が低下している)ということ、[甲状腺ホルモン不応症]は甲状腺ホルモンが充分あるのに、さまざまな臓器が甲状腺ホルモンの影響を受けにくくなっています。

通常、血液中の甲状腺ホルモン量はフィードバック機構(図)によって一定に保たれています。しかし、甲状腺ホルモン不応症では、甲状腺ホルモンが多くなっても、視床下部や下垂体が甲状腺ホルモンの多い状態に反応できず、どんどん甲状腺ホルモンを分泌するように甲状腺に指令(TRH・TSH)を出してしまい、甲状腺ホルモンが多いままになってしまいます。

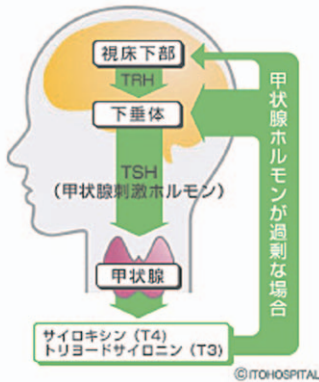


図) フィードバック機構

甲状腺ホルモンの分泌は、視床下部から分泌されるTRHと、そのTRHに刺激されて下垂体から分泌されるTSHというホルモンによって調整されています。下垂体が甲状腺ホルモンが増えすぎたと判断した場合は、甲状腺を刺激するTSHの分泌量を抑えて、甲状腺ホルモンの分泌を減少させます。こうした仕組みをフィードバック機構といいます。

### <原因>

甲状腺ホルモンが体の中で働くには、細胞の中にある甲状腺ホルモン受容体に結合しなければなりません。この病気では、何らかの原因で甲状腺ホルモン受容体の働きが障害されることで、甲状腺ホルモンへの感受性が弱まって発症するものと考えられています。1967年にレフェトフ先生が報告したのち、現在までに様々な研究がすすみ、ほとんどの人では、甲状腺ホルモン受容体の $\alpha$ 型・ $\beta$ 型という種類のうち $\beta$ 型の甲状腺ホルモン受容体遺伝子の異常が原因であることがわかっています。

### <症状>

不応という、甲状腺ホルモンが足りない甲状腺機能低下症の症状が出るのでは?と思われるかもしれませんが、さすが、上記の視床下部や下垂体だけでなく、他の臓器も甲状腺ホルモンへの感受性が低下するため、甲状腺ホルモンの働きが弱まった分(不応)を甲状腺ホルモンが増えることにより補っている状態となりますから、大部分の方ではホルモン不足の症状はでないのです。

ただ、臓器によって感受性の低下する割合はさまざまで、例えば心臓はあまり感受性が低下しないため、甲状腺ホルモンが増えた影響で亢進症の症状が出て、動悸を感じる方もいらっしゃいます。

### <治療>

多くの方で、ほとんど症状はなく、治療をしなくても普通の生活を送ることができます。しかし、上記のように心臓に影響がでて動悸を感じる場合には動悸止めの薬を服用したり、心房細動という不整脈を生じた際やご妊娠の際はとくに注意して治療したり経過をみたりしていきます。

4万人に一人ほどが発症するとの報告があり、とても珍しい病気ですが、血のつながりのある方にこのご病気を診断された方がいらしたら、一度調べておくと安心でしょう。

### 甲状腺機能亢進症/低下症と甲状腺ホルモン不応症での甲状腺機能検査

	甲状腺ホルモン (FT3・FT4)	TSH	状態
甲状腺機能亢進症	↑	↓	多すぎる甲状腺ホルモンを減らそうとしてTSHも減少
甲状腺機能低下症	↓	↑	不足している甲状腺ホルモンを増やそうとして、TSHも増加
甲状腺ホルモン不応症( $\beta$ 型)	↑	↑	下垂体が甲状腺ホルモンが多いことに反応できず、TSHが高いまま





甲状腺疾患の特徴からも、伊藤病院を受診される患者さまの大多数は女性かと思われます。そこで、今回は女性特有の疾患である乳がんについてお話しさせていただきます。

現在、日本における女性のがん患者数は大腸がん、肺がんを抑え乳がんが第1位となっております。周りを見渡してみてください。ここが病院の待合室だとしたら、椅子に座って診察をまっている患者さんの14人に1人は乳がんの方がいるという計算になります。

しかし、乳がんで亡くなる患者さんは、統計上では大腸がん、肺がん、胃がん、すい臓がんに次いで第5位と決して高い死亡率ではありません。このことは乳がんがしっかりした診断・治療を行えば決して怖い病気ではないということを示しています。

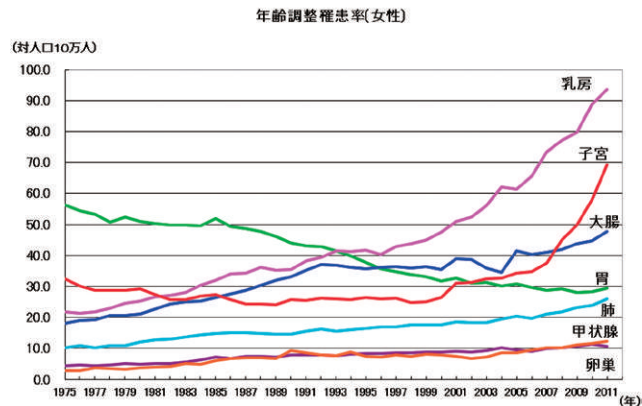
では、乳がんにかからないためにはどのようなことに注意すればいいのでしょうか？

受動喫煙を含めた喫煙歴やアルコールの摂取は、乳がんの発症には確実に影響を及ぼすとの報告がなされています。肥満もまた乳がんの発症リスクとなりますが、その一方で適度な運動を行うことは、乳がん発症のリスクを下げる事が明らかになってきております。

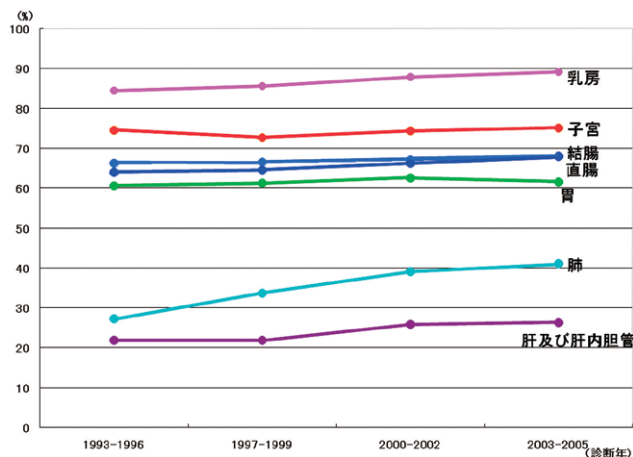
また、数年前にアメリカの女優さんが予防的に乳房を摘出したことで話題になった、遺伝性乳がんについて少し触れておきます。この病気は、遺伝子の変異により高い確率で乳がんが発症することが証明されています。さらに、卵巣がんも発症するタイプのものも存在し、彼女のように発症前に予防的に乳房や卵巣を切除することで、その発症を予防しようという対策がなされています。みなさまも一度、ご家族の中で乳がんの患者さんがいないかどうか、振り返ってみていただくのもよいかもしれません。

最後に・・・このページを読まれている男性患者さん、男性だからといって大丈夫！と思わないでください。意外と知られていないことですが、男性でも乳がんは発症します。ただ、男性の場合には胸のしこり=乳がん結びつく方が少ないので、進行してからが発見・診断になってしまうこともありますのでご注意ください。

## 主要部位別がん罹患率の推移



## 地域がん登録による がん生存率のデータ推移(女性)



グラフは国立がんセンターがん対策情報センターおよび川上診療所HPより

## 第57回全日病院学会で発表いたしました

大須診療所 事務長 高田博史

9/12日～13日の2日間、北海道で開催された第57回全日本病院学会において、「予約システムを導入した診療体制の構築」というタイトルにて発表してまいりました。

当診療所では、患者様の待ち時間のご負担を軽減し、スムーズに診療を行うために、11年前の開院当初から電話予約が可能な優先予約制を導入しました。以来、日々職員間でミーティングを行い、様々な工夫を凝らして改善してきました。

現在では、予約をお受けする際には、前回のカルテを確認しながら薬の残量や病状に変化がないか、前回ご来院時から間が開いている方には、検査と診察のどちらを先に受けて頂くかなどもご相談しております。

今後も患者様からのご要望にお応えできるよう、日々精進していきたいと考えております。



## 電話による医療通訳案内

大須診療所 事務長 高田博史

皆様をご存知のように、海外より受診される患者様が增多することを見据え、伊藤病院では国際医療室を設立し、無料で中・韓国語の医療通訳を提供しています。

近年、当診療所にも中国や韓国から多くの患者様が来院されるようになり、伊藤病院と同様に海外の患者様の利便性を高めるため、国際医療室と連携し、およそ3年前からホームページに掲載していた「中国語・韓国語での電話通訳提供」という文言を、1階の診察室のとなりとエレベーター内に新たに掲示いたしました。

このような取り組みを介し、診察時医師と患者様の意思疎通が滞りなく図れて、安心して受診していただければという由であります。

今後、外国人の患者様にも同等な医療を提供して行くため、引き続き頑張ってまいりますので、よろしくお願いたします。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。  
ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

## 大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinryoujyo.jp/

このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやましたクリニックの情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック 理事長・院長 山下弘幸  
やましたクリニックの山下です。

第48回日本甲状腺外科学会を伊藤病院が主催する予定になっているので、今回のVoicには学会の内容が多く載せられるのではないかと考えます。私は今学会で伊藤公一会長より、イブニングセミナーとして「甲状腺疾患専門クリニックの現状」という内容の企画をいただきました。甲状腺外科学会に参加される先生方には、甲状腺疾患だけの専門診療をされている先生や乳腺疾患、一般外科あるいは呼吸器外科疾患などとともに診療されている先生などさまざまです。それぞれのキャリアを積みながら将来像を描いているなかで「甲状腺専門クリニックの開業」という選択肢について、討論することになっています。そこで今回は学会のテーマである「少子高齢化時代における甲状腺外科」と「甲状腺専門クリニックの開業」との関連について述べます。

外来患者さんはクリニック、入院患者さんは病院で診療してもらう、という役割分担が医療政策で推し進められています。しかし、甲状腺の病気の方々に関しては、他の疾患に比較して分業がすすんでいないと考えます。Voice(第43号)で我が国の甲状腺疾患の臨床や研究は3大病院(東から伊藤病院、隈病院と野口病院)の功績によるものが大きいと記載しましたが、それらの病院では今でも外来・入院ともかなりの甲状腺の病気の患者さんの治療をされているからです。甲状腺疾患の大半が慢性の経過をとることより患者さんがしだいに増加し高齢化(遠方への受診ができなくなる)することは明らかなので、外来診療は甲状腺疾患に精通した先生(甲状腺専門医)にすこしずつ依頼していく必要があります。外来診療を任せることのできる専門医を育成することも甲状腺専門病院の役目として重要になってきており、それが伊藤会長に上記のイブニングセミナーを企画された理由のひとつかも知れないと考えています。



医療法人 福甲会  
やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック  
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8  
http://www.kojosen.com/index.html  
TEL：092-281-1300 FAX：092-281-1301

## 竹下通り

今月の表紙は、原宿駅側から見た竹下通りです。

平日でも多くの若者や観光客が行き交っており、こちらのゲート前では記念撮影をされている方もよく見かけます。

久しぶりに「伊藤病院周辺さんぽ」の取材で訪れ、何気なく見ていた時には気付けなかったお店の入れ替わりや、リニューアルしてLEDサインボードが付けられたゲート等、変化を続けている竹下通りに驚きました。

今号の「伊藤病院周辺さんぽ」は、竹下通りの変遷についてまとめておりますので、ぜひご覧下さい。  
(徳井)



## 編集後記

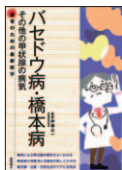
月日の経つのは早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。冬の街を彩るイルミネーションの季節です。表参道の各地でもライトアップされ、美しい光景を見ることができるようでしょう。

さて、Voice冬号はいかがでしたでしょうか。今回も「甲状腺の病気と診断」のコーナーでは、数多くある甲状腺の病気の中から一つ一つの病気を先生がわかりやすく解説しております。まだまだ連載は続きますので、ぜひご覧になっていただければと思います。

これから寒さも厳しくなって参りますので、どうぞお身体をお大事になさってください。  
(平沼)

## 甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



新刊

「患者のための最新医学  
バセドウ病・橋本病・  
その他の甲状腺の病気」

監修：伊藤公一  
定価：1,300円(税込)  
発行：高橋書店



「名医の図解  
よくわかる甲状腺  
の病気」

著者：伊藤公一  
定価：1,400円(税込)  
発行：主婦と生活社



「スーパー図解  
甲状腺の病気」

監修：伊藤公一  
定価：1,400円(税込)  
発行：法研



「甲状腺の  
病気の治し方」

監修：伊藤公一  
定価：1,300円(税込)  
発行：講談社



「甲状腺の病気の  
最新治療」

監修：伊藤公一  
定価：1,510円(税込)  
発行：主婦の友社



「図解 甲状腺の病気が  
よくわかる  
最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博  
定価：1,510円(税込)  
発行：日東書院

発行 2015年12月1日発行 第52号 伊藤病院広報誌委員会

**ITO**  
**HOSPITAL**  
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>